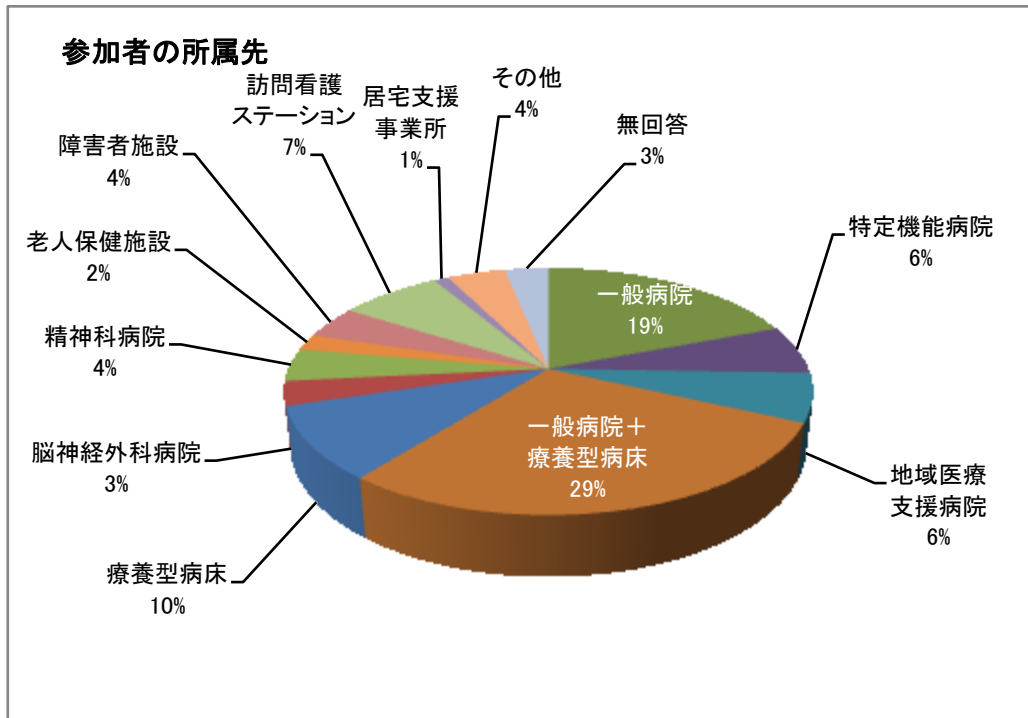


# PDNセミナー・アンケート結果

平成19年6月9日  
(サンプル数94)

## I. 参加者のプロフィール

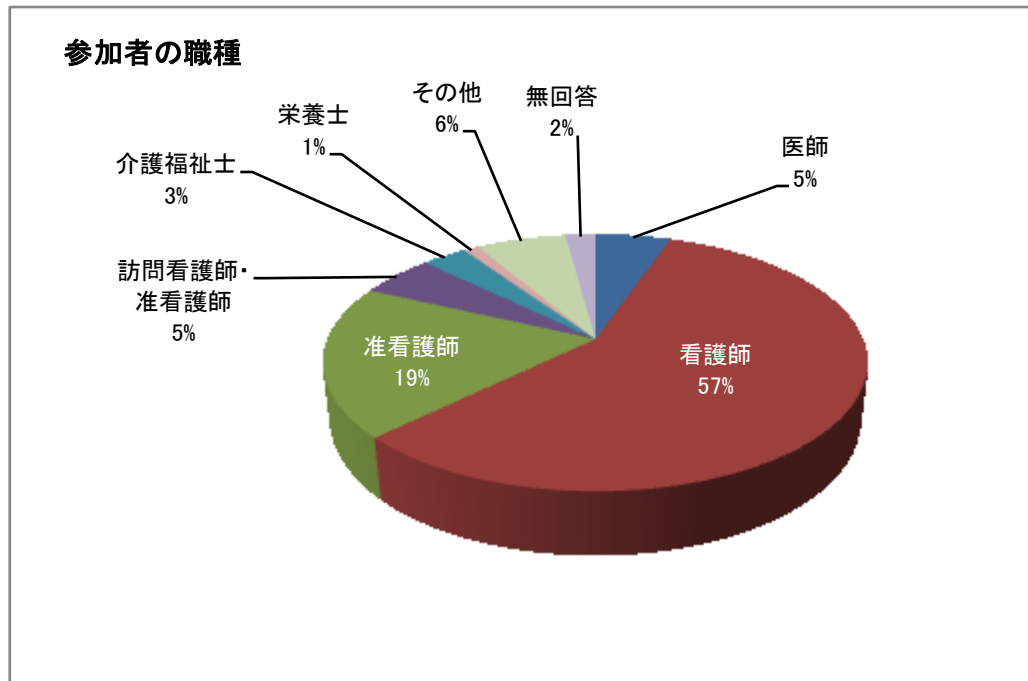
### ■参加者の所属先



その他： 歯科医師、グループホーム、介護・療養型医療施設

N=94

### ■参加者の職種



その他： 歯科医師、内視鏡技師、検査技師、工学技士

N=94

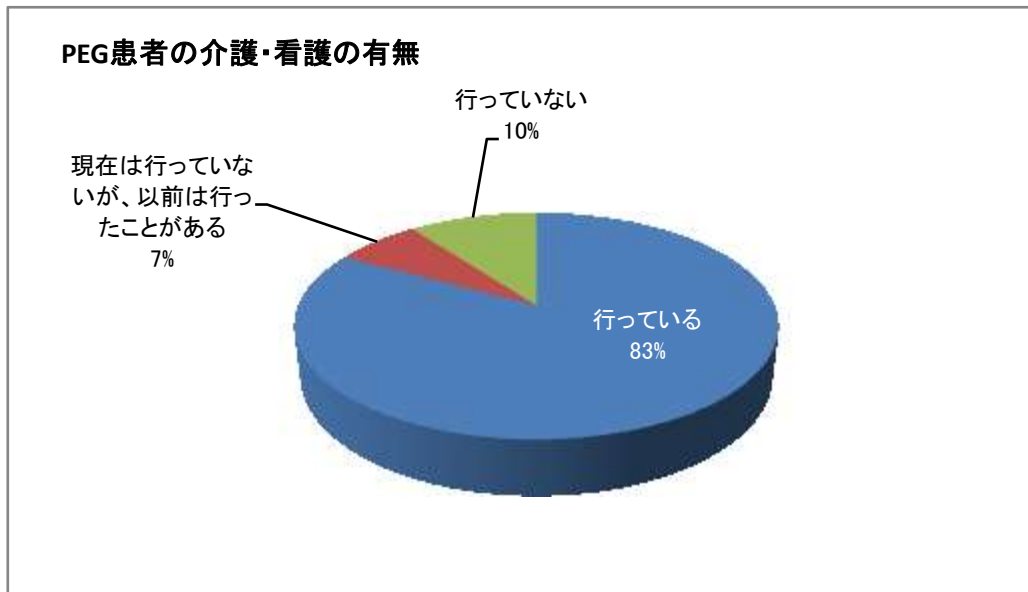
■所属先の所在地

N=94

市、郡	旭川市	北見市	紋別郡	富良野市	士別市	枝幸郡
人数	62	3	3	2	2	1
%	66%	3%	3%	2%	2%	1%

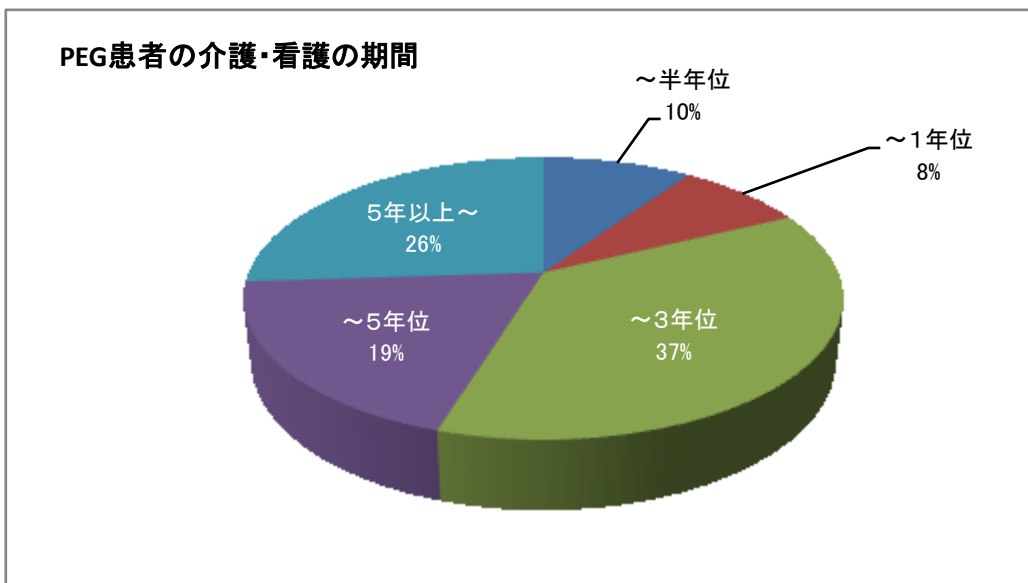
空知郡	名寄市	北海道のみ	無回答	合計
1	1	2	17	94
1%	1%	2%	18%	100%

■PEG患者の介護・看護の有無(医師以外の参加者について)



N=88

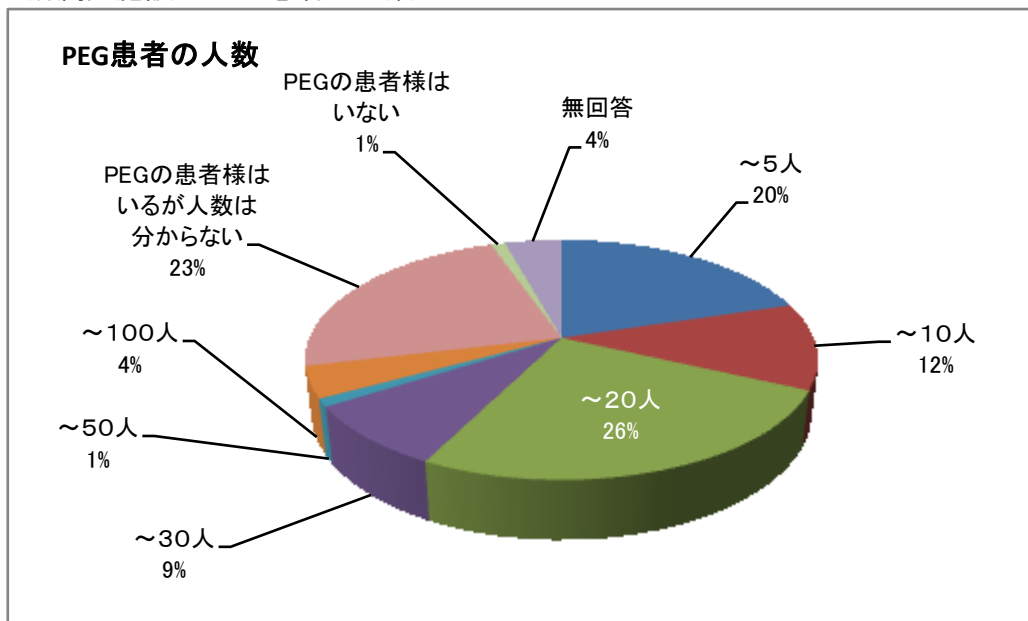
■PEG介護・看護の期間(看護・介護を行っている人について)



N=73

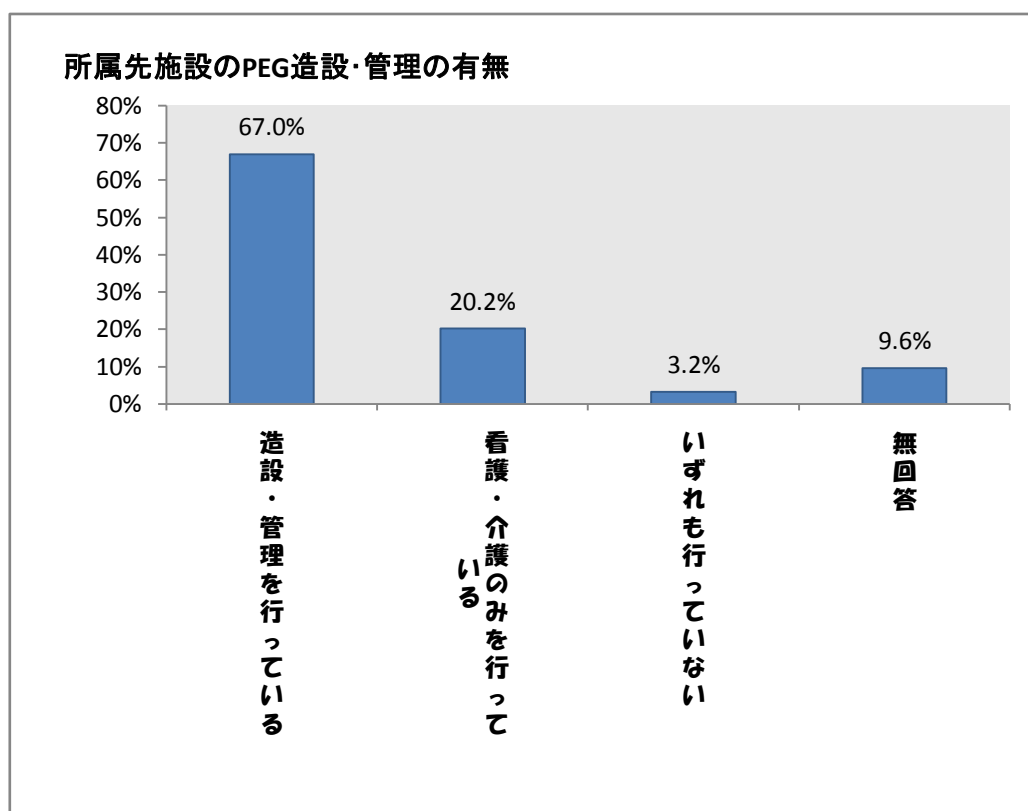
## II. 所属先施設のPEGの現状

### ■ 所属先施設のPEG患者の人数



N=94

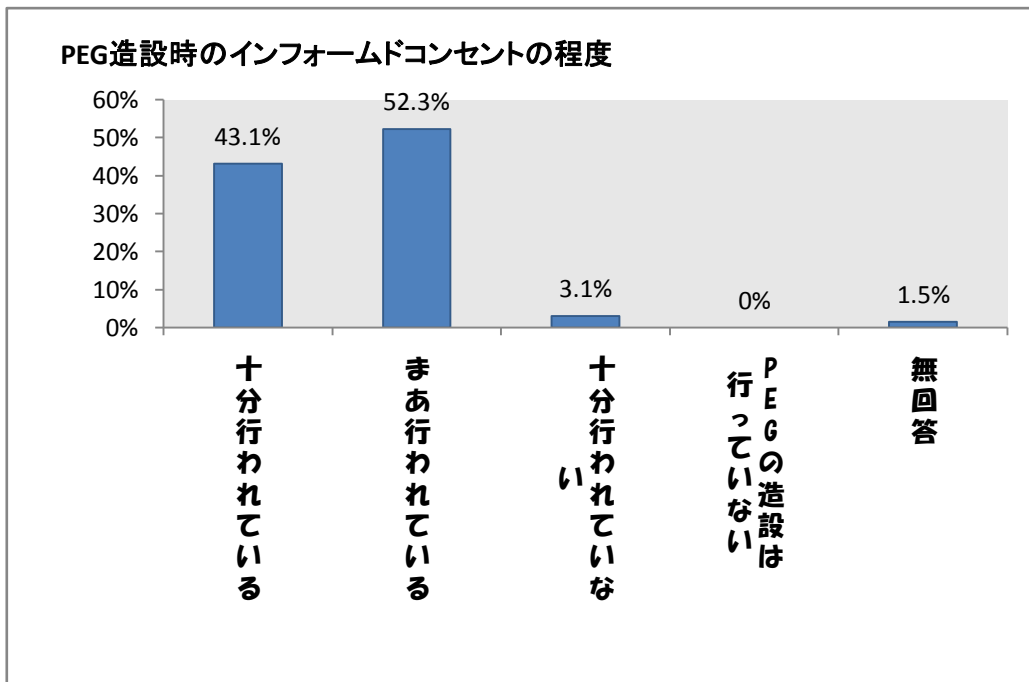
### ■ 所属先施設のPEG造設・管理の有無



N=94

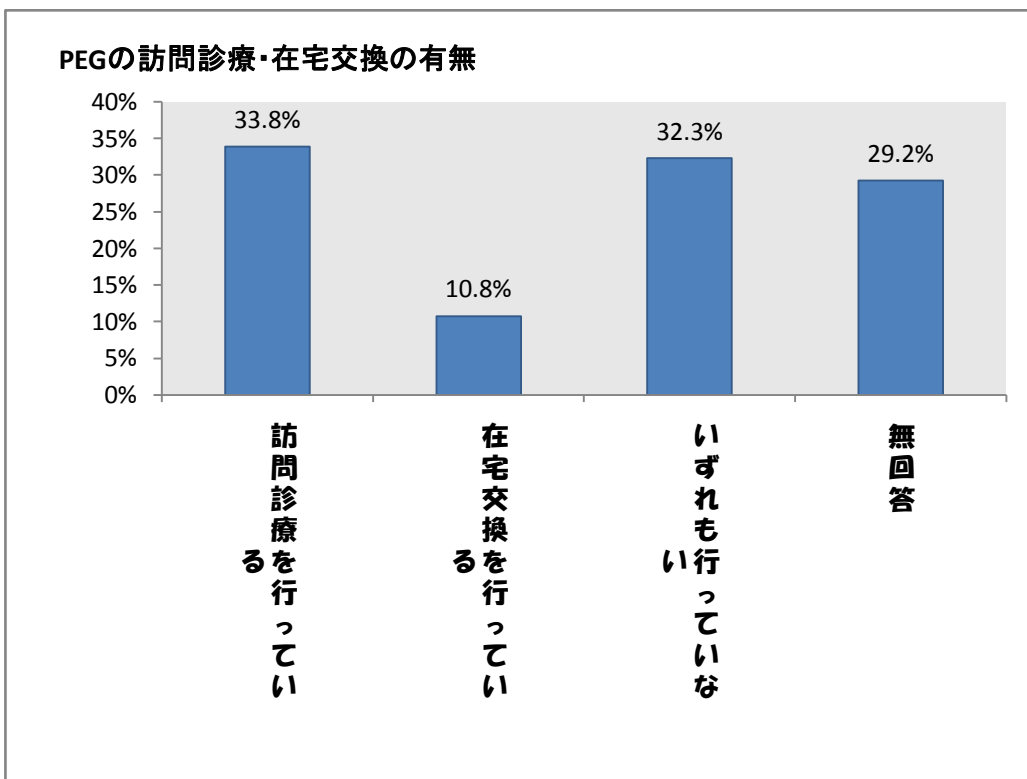
■PEG造設時のインフォームドコンセントの程度

(所属先がPEGの造設・管理を行っている参加者について)



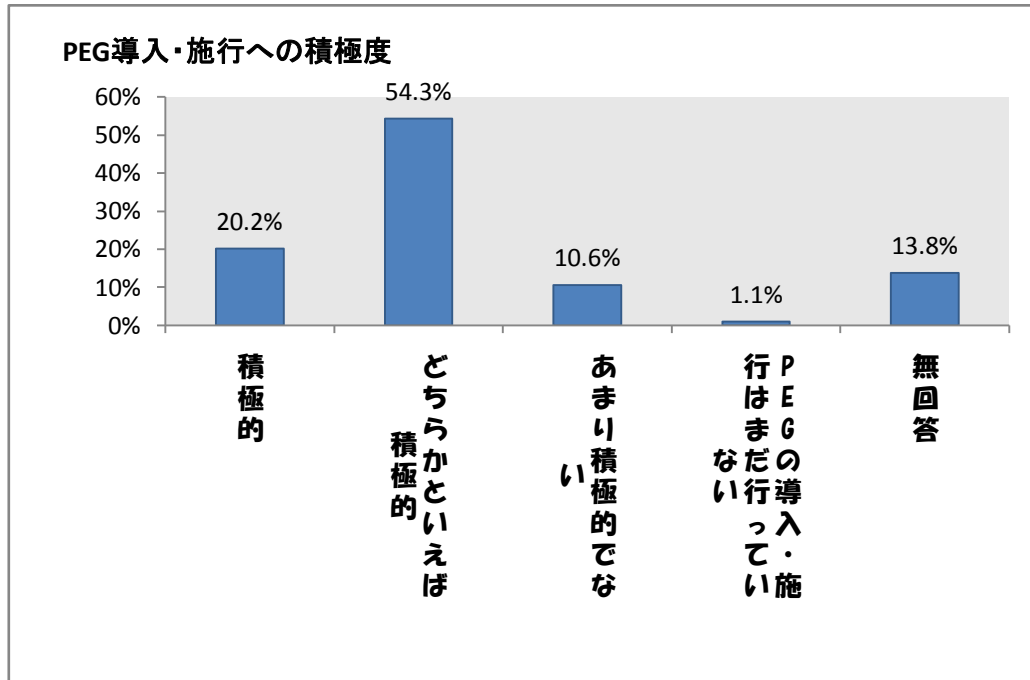
N=65

■所属先施設のPEGの訪問診療・在宅交換の有無



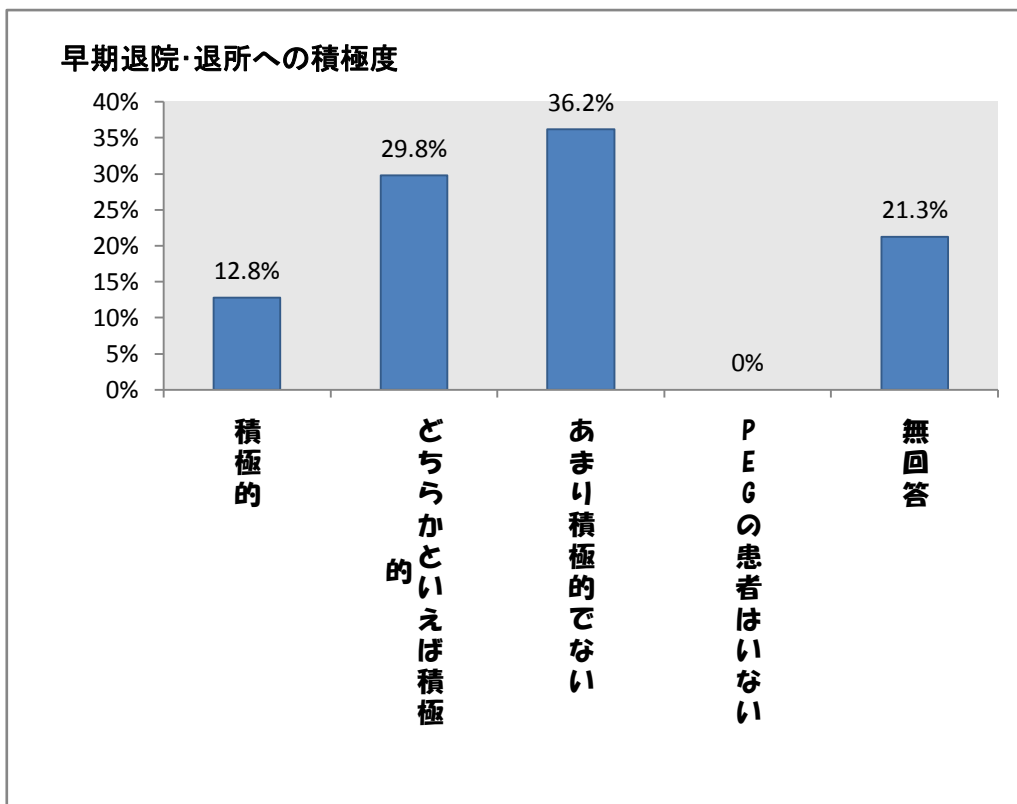
N=65

■所属先施設のPEG導入・施行への積極度



N=94

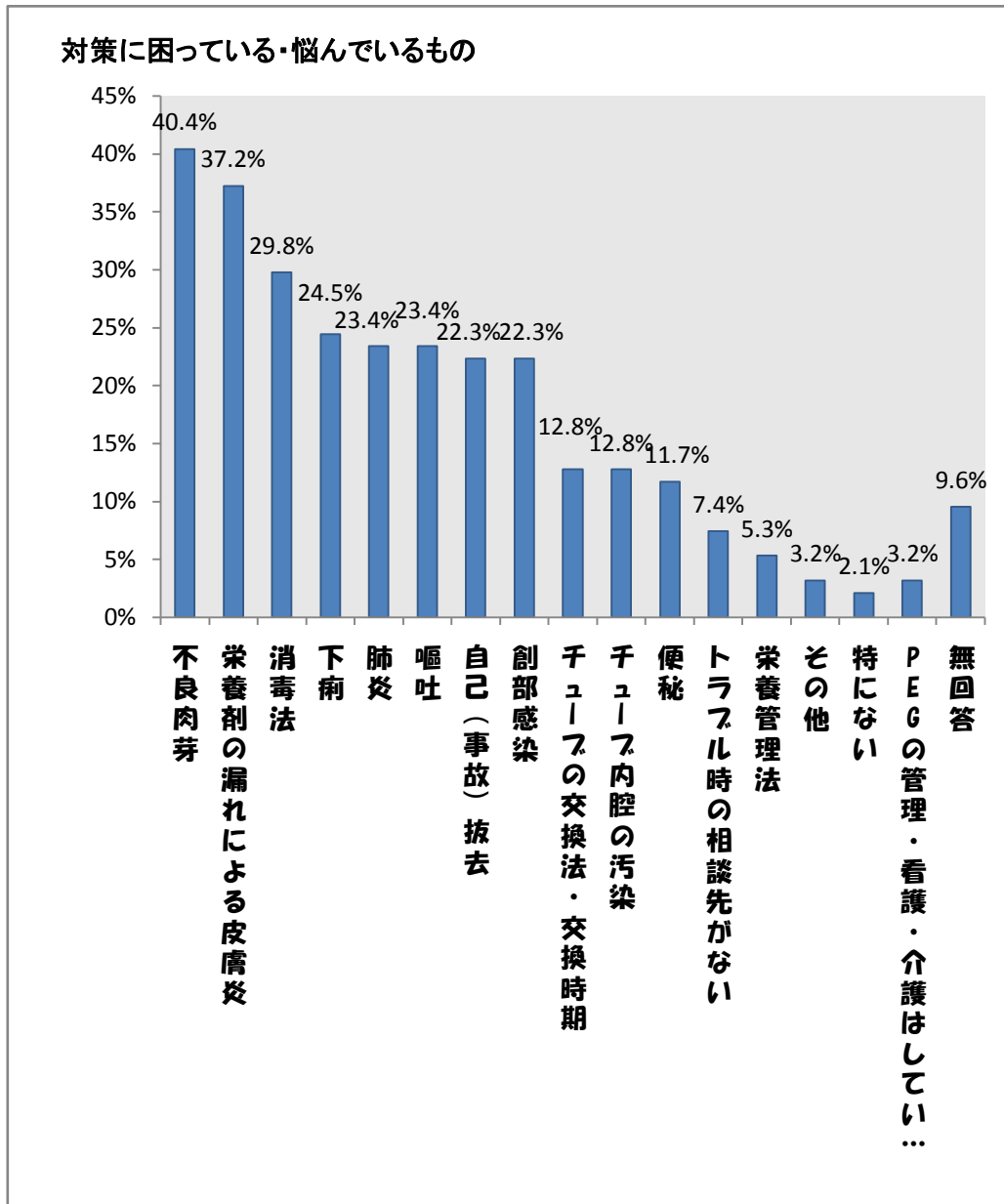
■所属先施設の早期退院・退所への積極度



N=94

Ⅲ. PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの(複数回答可)

■ 対策に困っている・悩んでいるもの

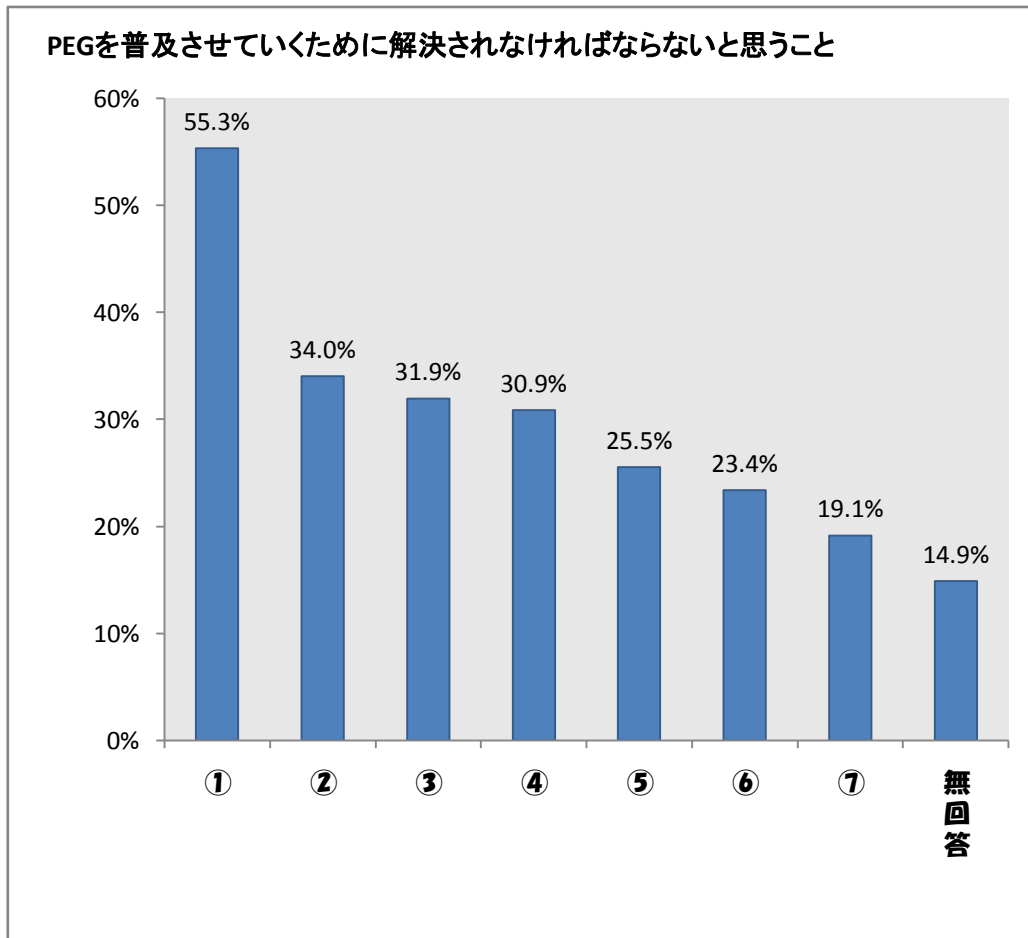


N=94

その他: PEG周囲皮膚トラブル(漏れがない場合でも)  
知識不足から十分な介護指導が行えない

IV. PEGをもっと普及させていくために、解決されなければならないと思うこと。  
 (3つだけあげてもらった複数回答)

■PEGを普及させていくために解決されなければならないと思うこと



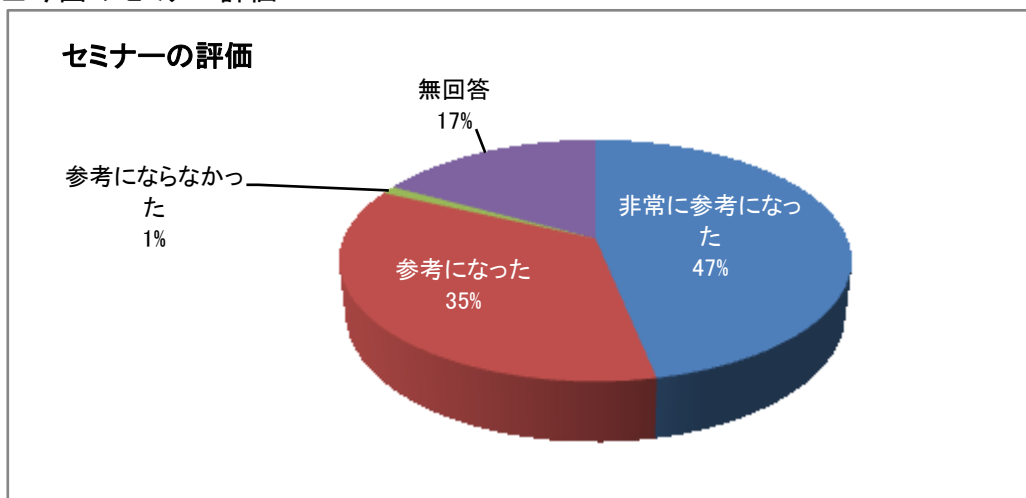
N=94

①	PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)	55.3%
②	一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実	34.0%
③	造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。	31.9%
④	PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化)	30.9%
⑤	食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみること。	25.5%
⑥	専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)	23.4%
⑦	PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。	19.1%

無回答 14.9%

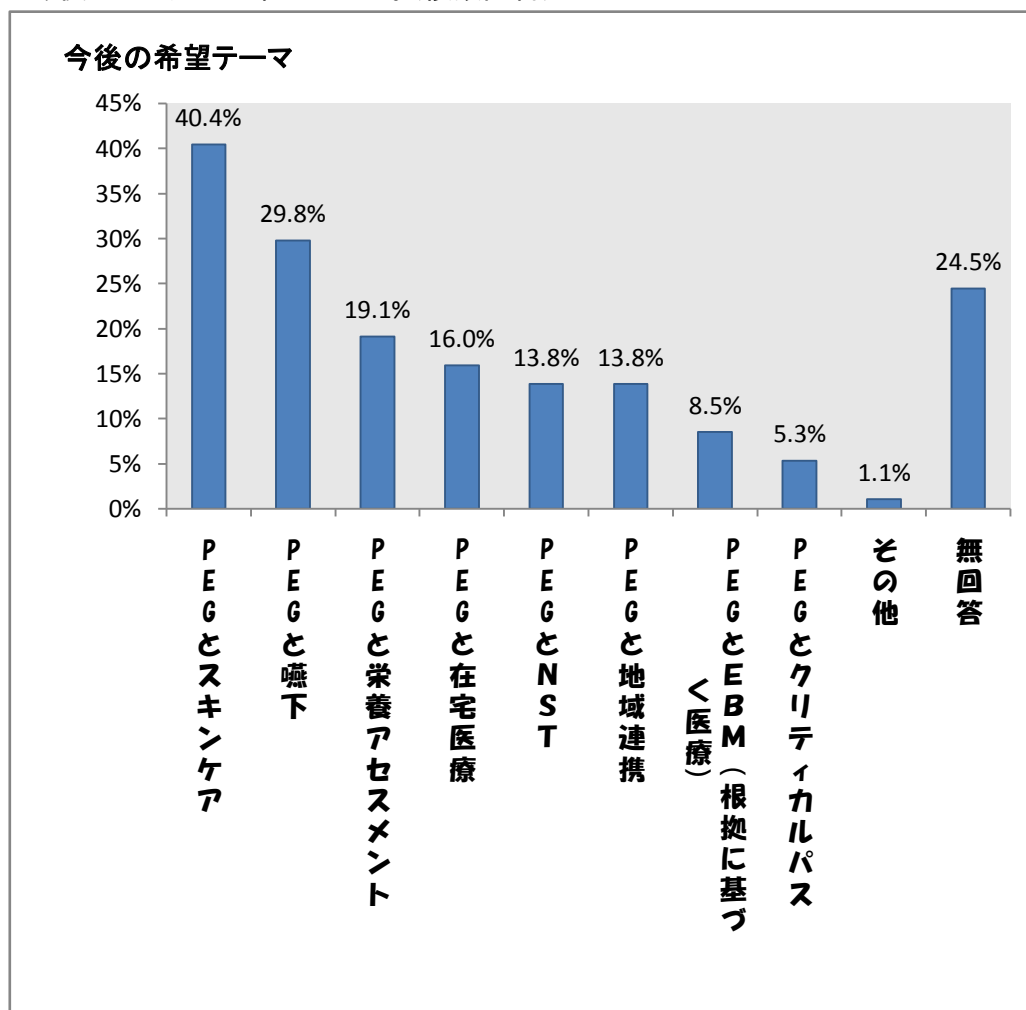
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ

■ 今回のセミナー評価



N=94

■ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



N=94

その他: トラブルへの対応  
病態、状態に合わせた栄養法



## VI. 自由回答意見

問. PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。  
忌憚のないご意見をお聞かせください。

- ・ PEGは胃に穴をあける、体に傷をつけるというイメージがまだあると思います。それがそうではないという考えに変えていくには、どのような取り組みが必要なのでしょう  
か？(一般病院+療養病床)
- ・ PEGの適応をよく知らず、中途半端なインフォームドコンセントをご家族にして、当院にPEG造設を依頼する医師もいるため、医師のみを対象としたセミナー等がある  
と思う。(一般病院、医師)
- ・ もっとPEGについて知りたかった。(療養病床、看護師)
- ・ テキストと説明の順序が違って、どこをやっているのか分らなかった。なので、全体的  
に分かりにくい。(訪問看護ステーション)
- ・ テキストを売ってくださるなら、十分な冊数をご用意していただけるとありがたいです。  
(すぐに見て使いたかったです)(特定機能病院、看護師)
- ・ 本日は、3名のご多忙な先生のお話が聞けて良い機会となりました。倉Drお大事に  
…。(地域医療支援病院、看護師)
- ・ 仕事などの事情で遠方の勉強会参加が難しいので、このたびは旭川での開催でよ  
かったです。また旭川でも行ってください。同じように札幌に行くのが難しい方がほか  
にもいると思いますので、お願いします。(訪問看護ステーション、看護師)

PDNセミナーアンケート

回収サンプル数：94

回答番号：回答内容：実数

Q1. あなたの所属先は？（ひとつだけ）

(1)一般診療所（無床）：0(2)一般診療所（有床）：0(3)一般病院：18(4)特定機能病院：6(5)地域医療支援病院：6(6)一般病院＋療養型病床：27(7)療養型病床：9(8)脳神経外科病院：3(9)精神科病院：4(10)リハビリテーション病院：0(11)特別養護老人施設：0(12)老人保健施設：2(13)有料老人施設：0(14)障害者施設：4(15)訪問看護ステーション：7(16)居宅支援事業所：1(17)在宅介護老人支援センター：0(18)その他：4 無回答：4

Q2. あなたは次のどれにあたりますか？（ひとつだけ）

(1)医師：5(2)看護師：54(3)准看護師：18(4)訪問看護師・准看護師：5(5)介護福祉士：3(6)作業療法士：0(7)理学療法士：0(8)社会福祉士：0(9)臨床心理士：0(10)言語聴覚士：0(11)介護支援専門員：0(12)訪問介護員（ホームヘルパー）：0(13)薬剤師：0(14)栄養士：1(15)その他：6 無回答：2

〔医師以外の参加者に対して N=88〕

Q3. あなたは、現在、PEGの患者様の看護・介護を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)行っている：73 (2)現在は行っていないが、以前は行ったことがある：6  
(3)行っていない：9 無回答：0

N=73

Q4. PEGの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか？（ひとつだけ）

(1)半年位：7(2)～1年位：6(3)～3年位：27(4)～5年位：14(5)5年以上～：19 無回答：0

〔医師に対して N=4〕

Q5. 先生のご担当診療科目は？（いくつでも）

(1)外科：4(2)内科：0(3)内視鏡科：0(4)その他：0 無回答：1

Q6. 先生がPEGの施行を行うようになったのは何年位前からですか？（ひとつだけ）

(1)～2,3年位前：1(2)～5年位前：0(3)～10年位前：0(4)10年以上前～：1(5)PEGの施行は行っていない：1 無回答：1

Q7. PEGを施行した患者様の原疾患は何でしたか？（いくつでも）

(1)脳血管障害：4(2)認知症：2(3)神経疾患：2(4)呼吸器疾患：2(5)外傷：0(6)癌：1(7)その他：0(8)PEGの施行は行っていない：0 無回答：1

Q8. 腹腔内誤挿入を経験したことがありますか？（ひとつだけ）

(1)ある：1(2)ない：3(3)PEGの施行は行っていない：0 無回答：1

Q9. 貴院では、一年間に、PEGの施行を何件行っていますか？（ひとつだけ）

(1)～10件以下：2(2)～20件：0(3)～30件：0(4)～40件：1(5)～50件：1(6)51件以上～：0(7)PEGの施行は行っていない：0 無回答：1

〔以下、全員に対して N=94〕

Q10. 訪問看護・介護を含めて、御施設にはPEGの患者様は何人いらっしゃいますか？（ひとつだけ）

(1)～5人：19(2)～10人：11(3)～20人：24(4)～30人：8(5)～50人：1(6)～100人：4(7)101人以上～：0(8)PEGの患者様はいるが人数は分からない：22(9)PEGの患者様はいない：1 無回答：4

Q11. 御施設では、PEGの造設・管理を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)造設・管理を行っている：63 (2)看護・介護のみ行っている：19  
(3)いずれも行っていない：3 無回答：9

〔N=65〕

Q12. 御施設では、PEGの造設にあたって、患者さまご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか？

(Q12のつづき)

(1) 十分行われている:28(2) まあ行われている:34(3) 十分行われていない:2(4) PEGの造設は行っていない:0 無回答:1

Q13. 御施設では、PEGの訪問診療・在宅交換を行っていますか？(いくつでも)

(1) 訪問診療を行っている:22(2) 在宅交換を行っている:7(3) いずれも行っていない:21 無回答:19

[N=94]

Q14. 御施設は、PEGの導入・施行に積極的ですか？(ひとつだけ)

(1) 積極的:19(2) どちらかといえば積極的:51(3) あまり積極的でない:10(4) PEGの導入・施行はまだ行っていない:1 無回答:13

Q15. 御施設は、PEGの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？(ひとつだけ)

(1) 積極的:12(2) どちらかといえば積極的:28(3) あまり積極的でない:34(4) PEGの患者はいない:0 無回答:20

Q16. PEGの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？(いくつでも)

(1) 自己(事故)抜去:21(2) 肺炎:22(3) 嘔吐:22(4) 下痢:23(5) 便秘:11(6) 栄養剤の漏れによる皮膚炎:35(7) 不良肉芽:38(8) 創部感染:21(9) チューブの交換法・交換時期:12(10) チューブ内腔の汚染:12(11) 消毒法:28(12) 栄養管理法:5(13) トラブル時の相談先がない:7(14) その他:3(15) 特にない:2(16) PEGの管理・看護・介護はしていない:3 無回答:9

Q17. PEGをもっと普及させていくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください。(3つだけ)

① PEGについての勉強会の充実。(PEGの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)	52
	55.3%
② 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実	32
	34.0%
③ 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。	30
	31.9%
④ PEGの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発症予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化)	29
	30.9%
⑤ 食べられなくなれば即PEGというのではなく、PEG本来の「役割」をいま一度考え直してみることに。	24
	25.5%
⑥ 専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)	22
	23.4%
⑦ PEGの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。	18
	19.1%
	無回答
	14
	14.9%

Q18. きょうのセミナーは参考になりましたか？(ひとつだけ)

(1) 非常に参考になった:44(2) 参考になった:33(3) 参考にならなかった:1 無回答:16

Q19. 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

(1) PEGと嚥下:28(2) PEGと栄養アセスメント:18(3) PEGとスキンケア:38(4) PEGと在宅医療:15(5) PEGとNST:13(6) PEGとクリティカルパス:5(7) PEGと地域連携:13(8) PEGとEBM(根拠に基づく医療):8(9) その他:1 無回答:23

Q20. 所属先の所在地は？

県 市・郡

Q21. PEGの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？